

よろず生産の神「陰陽石」に豊穡祈願

9月23日、「こばやし陰陽石まつり」が陰陽石自然公園などで開催されました。神事が行われた後、午前中には、地域住民らが東方運動場などで弓道、バタンクなどのスポーツ競技で交流。午後には、野外ステージで東方輪太鼓踊りなどが披露されました。



今年も赤い羽根共同募金はじまる

10月1日、赤い羽根共同募金厚生労働大臣メッセージの伝達式が行われました。社会福祉協議会種子田興市長が「住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、お互いを支え合う地域社会を築いていくことが重要」と話していました。



市民目線で市の事業を評価

10月1日、市の事業に対し外部から意見をもらう外部評価委員会が開催されました。今回は2つの事業を評価。評価の結果は、行政運営や予算などに反映していきます。会議は、残り4回開催予定で、誰でも傍聴ができますのでご連絡ください。(企画政策課 TEL 23-0456)



吉飼清勇さん人権擁護委員に再任

10月1日、人権擁護委員の吉飼清勇さんが法務大臣から委嘱され再任を受けました。任期は平成30年12月31日までの3年間。吉飼さんは子ども委員を担当しており、「相談日にお待ちしております」と話していました。



競技を楽しむ住民ら。途中、応援合戦も行われ大きな声援でにぎわっていました。また、会場では地域の物産展も行われました

地域で支えあうきっかけに 須木地区で運動会開催

9月27日、須木元気ふるさと大運動会(すきむらづくり協議会主催)が須木小学校グラウンドでありました。同協議会が住民が集い地域全体を支えあうきっかけを作ろうと、合併後10年ぶりに実施。住民ら約500人が参加し、10地区を4団に分け、リレーや団技で交流を深めました。



左から今西さん、肥後市長、慎太さん・絵美さん夫妻。協力隊の任期は最長3年で、前職の経験を生かし地域活性化に取り組んでいきます

小林に移住し、活性化を支援 地域おこし協力隊に3人委嘱

10月1日、都市部の人移住し地域活性化を支援する「地域おこし協力隊」に新たに3人が委嘱されました。商工観光課に細川慎太さん、野尻庁舎地域振興課に今西哲也さん、細川絵美さんを配属。隊員は、これまでの経験を活かし、さまざまな施策に取り組んでいきます。

秋の味覚求めて大賑わい すきむらんどで栗まつり

9月23日、須木の特産「すき栗」や地元の産物などをPRするイベント「すき栗まつり」が、すきむらんどなどで開催されました。目玉のクリ拾い体験では、多くの家族連れが生産農家4戸で収穫を体験。まつり会場では、魚のつかみ捕り、ステージイベントや物産展などが行われました。



多くの家族連れで賑わうすきむらんどのもまつり会場。人気の生クリや、クリやユスなどの加工品を求めて1500人が来場しました

全日本ホルスタイン共進会 県代表として市から2頭出場

全日本ホルスタイン共進会の県代表を选考する予選会が9月25日、都城地域家畜市場で行われました。県内各地の酪農家が育てた乳用牛27頭が出場。県代表の9頭が決定し、うち市から、温水洋志さん(細野)と谷口俊文さん(野尻町三ヶ野山)の2頭が選出されました。2頭は10月23日~26日に行われる全日本共進会に出品されます。



谷口さん(写真左)、温水さん(右)。5年に1度開催されるこの会は、前回は災害などで中止となっており、今年が10年振りとなります



グループワークでは、「一人暮らしの高齢者が増える中、自分たちがしっかり地域を元気にしましょう」などの意見がでていました

地域を元気にしよう会発足 健康や福祉の団体が連携

9月15日、第1回地域連携助け合い(交流会)が中央公民館でありました。健康を視点を活動している団体の横のつながりを強めようと、市内の健康や福祉、スポーツに関する9団体90人が参加し、「地域で自分たちにできることはなにがあるか」をテーマにグループワークなどが行われました。



市長を訪問し、受賞を報告した大畑さん(写真中央)。「広報こばやし8月号」小林人では大畑さんを紹介していますのでご覧ください

少年補導員として防犯に尽力 大畑忠正さん防犯栄誉金章

9月24日、平成27年度全国地域安全中央大会が明治記念館(東京)で開催され、大畑忠正さん(野尻町東麓)が、防犯功労者(防犯栄誉金章)を受章しました。大畑さんは、32年にわたり少年補導員として地域の防犯に尽力。現在も、小林地区少年補導員連絡会会長として、地域の見回りや祭り時のパトロールなどを行っています。

文学者黒木清二さんの偉業をしのぶ

旧須木村出身の文学者黒木清次（1915～88年）さんの偉業をしのぶ「黒木清治文学碑祭」が10月3日、ままこ滝左岸にある文学碑前で開催されました。約145人が出席し、献花の後、黒木さんの詩を楽曲化した「朝の鶴」の合唱などが披露されました。



秀峰高の生徒ら市内16カ所を清掃

10月10日、小林秀峰高の生徒らが、「感謝の清掃」を行いました。いつもお世話になっている地域に感謝の気持ちを伝えることが目的。小林駅周辺や中央公民館、文化会館、市民体育館など市内13カ所のごみ拾いや草刈りなどを行いました。



地元の農産物や加工品を販売

10月10日から12日にかけて、第16回生駒ふれあいコスモス観光チャリティ物産展が生駒高原コスモホールで開催されました。物産展では、西諸地区の農作物や加工品などを販売。また、踊りや歌、楽器演奏など多彩なステージイベントも行われました。



自衛隊の関係団体が奉仕作業

10月17日、市自衛隊父兄会と防衛協会小林支部が市内の観光地など4カ所で奉仕作業を行いました。会員や現職自衛隊員やOBなど108人が参加。出の山公園、三之宮峡、本庄川河川敷、のじりこびあ環境広場の草刈りやごみ拾いなどを行いました。



のじり湖祭に約6千人訪れ 2000発の花火を楽しむ

10月10日、のじり湖祭（同実行委員会主催）がのじりこびあで開催されました。市内外から約6,000人が来場。ステージイベントや抽選会、打ち上げ花火が行われました。メインイベントの打ち上げ花火とレーザーショーが夜空を彩ると会場からは歓声と大きな拍手が起こっていました。



同祭りは8月に開催予定していましたが悪天候で中止。「地域を盛り上げたい」と実行委員会が企画し、開催することになりました

牛・豚の肉質競う県共進会 肉牛の部で坂下牧場に最高賞

10月20日、牛、豚の肉質を競う「第59回県畜産共進会」枝肉の部が（株）ミヤチク高崎工場でありました。肉牛の部では、出品された110頭全てが4等級以上（うち7割が5等級）という高レベルな争いに。結果、坂下牧場（坂下信雄代表・真方）が最高賞にあたる優等1席に、（有）馬場牧場（馬場りつ子代表・南西方）が同3席に輝きました。



市の畜産農家の肥育技術の高さを示した馬場幸成さん（写真左）と坂下さん（右）。「これからも関係者と品質向上に努めたい」と坂下さん



式典では、西小林中片ノ坂亜佑さん（写真上部左）と西小林小牧野文花さん（同右）が「平和への想い」の作文を朗読しました

遺族関係者ら800人が参列 忠霊塔で戦没者追悼式

10月2日、戦没者追悼式が忠霊塔前広場で行われました。塔には約1600人の戦没者が祭られており、式典には約800人が参列。遺族を代表して遺族協会の岡原信夫会長が「命をかけて戦い散った英霊を追悼し、戦後の発展を支えた先人へのご恩を忘れてはいけない」とあいさつしました。

看護医療専門学校の1期生 ナイチンゲール灯火に決意

10月9日、小林看護医療専門学校で1期生の誓いの式が行われました。4月に入学した学生40人がナイチンゲール像から受け取った灯火を手に、壇上に整列。ろうそくの明かりの中、「同じ志を持つ仲間と切磋琢磨し、より質の高い看護を提供できるように努めます」などと誓詞を読み上げました。



自分たちで考えた誓詞を読み上げる生徒。能勢奨吾さんは「また頑張ろうと、気持ちの区切りができた」と決意を新たにしていました



同協議会前田博後会長は「梅雨の長雨が心配されたが、その後天候に恵まれ出来はいい。多くの人に味わってほしい」と話していました

特産品のナシの出来競う 新興・新高の品評会

10月1日、西諸県農業改良普及センターで市果樹農業振興推進対策協議会とJAこばやし梨ぶどう生産部会による梨の品評会が行われました。

【以下結果・優等および金賞のみ・敬称略】
新興協議会…小原修一/JA…小原修一
新高協議会…永迫賢治/JA…永迫賢治



和やかな雰囲気の中でも、競技は真剣勝負。競技が終わると声援が送られるなど、会場は大いに盛り上がりました

老人クラブ会員1000人参加 スポーツで交流を深める

10月6日、第43回こばやし友愛クラブスポーツ大会（市老人クラブ連合会主催）が総合運動公園陸上競技場で行われました。市内のクラブ会員ら、約1000人が参加。9地区団に分かれ、ゲートボール、お手玉入れやビン倒しなどの競技で交流を深めました。【以下結果】優勝＝橙団（須木地区）